

第14期

運用報告書(全体版)

DCワールド・ソブリンインカム 確定拠出年金専用

【2020年2月25日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「DCワールド・ソブリンインカム」は、2020年2月25日に第14期決算を迎えましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2006年2月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	当ファンドは、ワールド・ソブリンインカムマザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に分散投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、実質外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益には、マザーファンドの利子・配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準、経済的合理性等を勘案して決定します。分配金は、決算日の基準価額で再投資します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配)	税 込 分 配	み 金 騰 落	期 騰 落	中 率			
	円	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
10期(2016年2月25日)	13,143	0	△7.3	403.27	△4.5	91.7	—	91
11期(2017年2月27日)	12,774	0	△2.8	398.96	△1.1	82.5	—	91
12期(2018年2月26日)	12,954	0	1.4	407.56	2.2	95.9	—	90
13期(2019年2月25日)	13,119	0	1.3	417.33	2.4	91.3	—	94
14期(2020年2月25日)	13,775	0	5.0	443.44	6.3	90.7	—	105

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2019年2月25日	円	%	ポイント	%	%	%
	13,119	—	417.33	—	91.3	—
2月末	13,119	0.0	417.70	0.1	93.1	—
3月末	13,252	1.0	421.60	1.0	84.4	—
4月末	13,175	0.4	420.46	0.8	89.9	—
5月末	13,092	△0.2	420.77	0.8	87.5	—
6月末	13,232	0.9	424.27	1.7	93.7	—
7月末	13,209	0.7	425.39	1.9	84.9	—
8月末	13,245	1.0	429.64	2.9	90.7	—
9月末	13,237	0.9	430.98	3.3	92.6	—
10月末	13,426	2.3	432.10	3.5	94.1	—
11月末	13,438	2.4	432.72	3.7	93.2	—
12月末	13,465	2.6	433.70	3.9	88.4	—
2020年1月末	13,535	3.2	436.15	4.5	82.8	—
(期末) 2020年2月25日	13,775	5.0	443.44	6.3	90.7	—

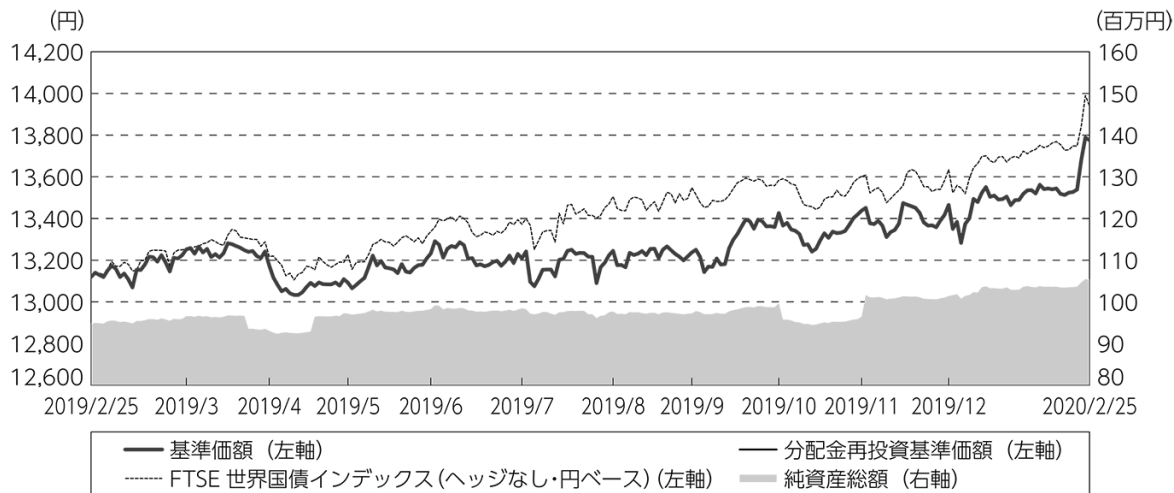
(注) 騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2019年2月26日～2020年2月25日)



期首：13,119円

期末：13,775円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 5.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)です。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首(2019年2月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資国の債券利回りが低下し、債券価格が上昇したこと。
- ・イギリスポンドが対円で小幅に下落したものの、投資比率変更のタイミングが奏功し、イギリスポンドの為替要因がプラスとなったこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロとオーストラリアドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2019年2月26日～2020年2月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）など主要先進国の中央銀行が金融緩和姿勢を鮮明にしたことに加え、米中貿易摩擦の激化等を背景に世界的な景気後退懸念が高まったことから、2019年8月にかけて債券利回りが大幅に低下（価格は上昇）しました。その後、米中貿易摩擦への懸念が徐々に後退したことや、世界的な景気底入れ観測が高まったことを受けて、年末にかけては債券利回りが上昇（価格は下落）傾向となりました。しかし、2020年に入ると、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大懸念が徐々に強まったことを背景に、世界経済の先行きに対する警戒感が高まり、各投資国の債券利回りが急低下する展開となりました。この結果、当期における各国の10年国債利回りは、小幅な利回り低下にとどまった日本を除き、全ての投資国において大幅に低下しました。

＜為替市場＞

為替市場では、海外金利の低下に伴う内外金利差の縮小（ドイツなど一部の国に対しては、内外金利差のマイナス幅の拡大）に加え、米中貿易摩擦の激化に伴う投資家のリスク回避の動きを背景に、2019年8月にかけて投資通貨に対し円が全面高となりました。しかしその後は、米中貿易摩擦やイギリスの合意なき欧州連合（EU）離脱への懸念が徐々に後退したことを受けて、安全資産として円を買う動きが反転し、投資通貨に対し総じて緩やかな円安が進行しました。このため、各投資通貨は対円での下げ幅を縮小する動きとなりました。2020年1月中旬以降は、新型コロナウイルスに対する懸念から海外の債券利回りが低下し、円高要因として働く場面が見られる一方、日本国内での感染拡大懸念を背景に一時的に円が全面安となるなど、為替市場全般が不安定な動きとなりました。この結果、当期における各投資通貨の対円レートは、オーストラリアドルが7%台、ユーロが4%台の下落となる一方、米ドル、カナダドル、イギリスポンドは小幅な動きにとどまりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年2月26日～2020年2月25日)

＜DCワールド・ソブリンインカム＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

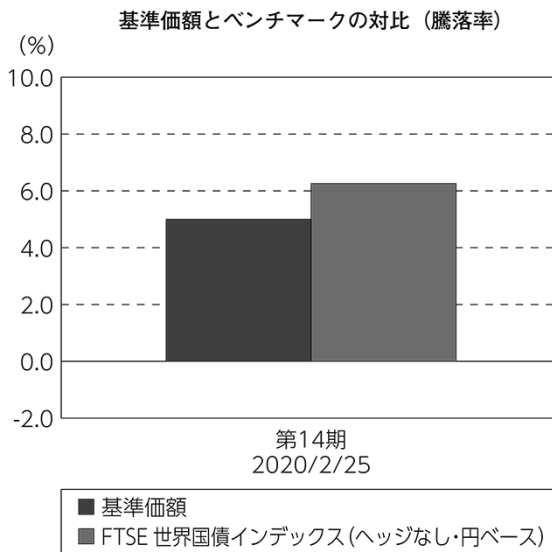
7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション※を変化させました。デュレーションは、5.52年～8.14年の範囲内での推移となり、期末は8.07年となりました。当期においては、2019年12月にイタリア国債への投資を再開しました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は78.1%～97.0%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期においては、ベンチマークと比較し、円と米ドルは低め、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは高め、ユーロは概ね同程度となりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年2月26日～2020年2月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.3%下回りました。イタリア国債の利回りが大幅に低下（価格は上昇）する局面において、イタリア国債に投資をしていなかったことが、マイナス要因となりました。また、ベンチマークと比較し、対円での下落率の大きかったオーストラリアドルの投資比率を高めに維持したこともマイナスとなりました。一方、期末にかけて投資国の債券利回りが急低下する中で、ベンチマークと比較し、好調なパフォーマンスを示した米国の超長期債の投資比率を高位に維持したことはプラス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

(2019年2月26日～2020年2月25日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当期間におきましては、基準価額水準、分配可能額、経済的合理性を勘案し、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第14期
	2019年2月26日～ 2020年2月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,018

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てて算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(投資環境の見通し)

投資国の債券市場では、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界的な景気後退懸念が高まっていることや、今後各中央銀行による金融緩和が予想されることから、当面は債券利回りが低位で推移する展開を想定しています。一方、主要先進国が協調して新たな財政出動に踏み切る場合や、新型コロナウイルスの感染拡大が終息に向かうとの見通しが強まる場合は、各投資国の債券利回りが上昇に転じると見えています。為替市場では、新型コロナウイルスの感染拡大等を背景に金融市場全般が不安定な動きを続ける場面では、安全資産とされる円が選好されやすい展開になると想定しています。一方、日本の貿易収支の悪化や、国内の企業と投資家による継続的な対外投資は、今後も需給面での円安要因または円高抑制要因として働くと考えています。このため、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が和らぐ場面では、円買いの動きが弱まり円安圧力が強まると見えています。ただ、中期的に安定的な円安基調となるためには、世界的に株価や債券利回りが上昇基調に転じる必要があると見えています。

(運用方針)

<DCワールド・ソブリンインカム>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2019年2月26日～2020年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	124	0.935	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(47)	(0.352)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(70)	(0.528)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.025	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	127	0.960	
期中の平均基準価額は、13,285円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

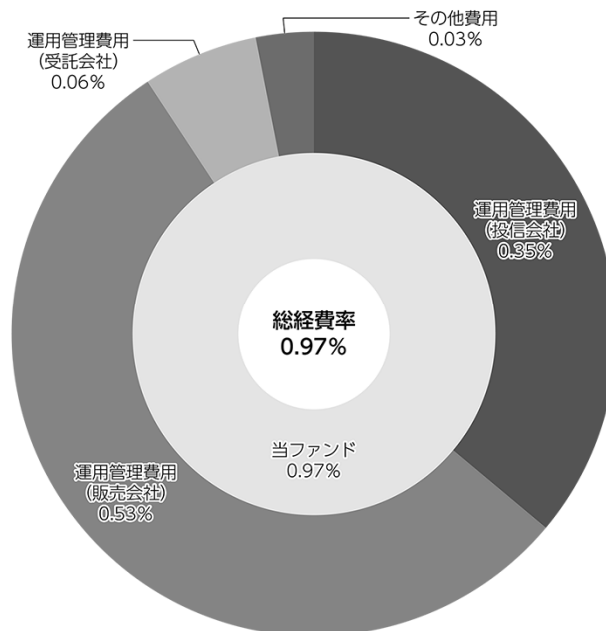
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年2月26日～2020年2月25日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 7,419	千円 14,642	千口 5,045	千円 9,967

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年2月26日～2020年2月25日)

利害関係人との取引状況

<DCワールド・ソブリンインカム>

該当事項はございません。

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公社債	百万円 230,431	百万円 1,033	% 0.4	百万円 218,923	百万円 -	% -

平均保有割合 0.1%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは岡三証券です。

○組入資産の明細

(2020年2月25日現在)

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	千口 48,735	千口 51,109	千円 104,918

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 104,918	% 99.1
コール・ローン等、その他	909	0.9
投資信託財産総額	105,827	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（82,340,895千円）の投資信託財産総額（98,355,794千円）に対する比率は83.7%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝110.91円、1カナダドル＝83.43円、1ユーロ＝120.33円、1イギリスポンド＝143.31円、1オーストラリアドル＝73.30円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	105,827,884
コール・ローン等	909,379
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	104,918,505
(B) 負債	512,936
未払解約金	39,335
未払信託報酬	467,061
その他未払費用	6,540
(C) 純資産総額(A-B)	105,314,948
元本	76,454,263
次期繰越損益金	28,860,685
(D) 受益権総口数	76,454,263口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,775円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,3775円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は72,254,002円、期中追加設定元本額は13,802,384円、期中一部解約元本額は9,602,123円です。

○損益の状況 (2019年2月26日～2020年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 205
受取利息	2
支払利息	△ 207
(B) 有価証券売買損益	5,689,149
売買益	5,881,139
売買損	△ 191,990
(C) 信託報酬等	△ 918,033
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,770,911
(E) 前期繰越損益金	7,858,208
(F) 追加信託差損益金	16,231,566
(配当等相当額)	(29,722,867)
(売買損益相当額)	(△13,491,301)
(G) 計(D+E+F)	28,860,685
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	28,860,685
追加信託差損益金	16,231,566
(配当等相当額)	(29,765,283)
(売買損益相当額)	(△13,533,717)
分配準備積立金	23,894,857
繰越損益金	△11,265,738

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

	決算期	第14期
(a) 配当等収益(費用控除後)		3,023,922円
(b) 有価証券等損益額(費用控除後、繰越欠損金補填後)		0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金		29,765,283円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金		20,870,935円
分配対象収益(a+b+c+d)		53,660,140円
分配対象収益(1万口当たり)		7,018円
分配金額		0円
分配金額(1万口当たり)		0円

<お知らせ>

該当事項はございません。

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2020年2月25日現在)

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(44,754,605千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	6,000,000	6,503,900	7.1	—	7.1	—	—	
合 計	6,000,000	6,503,900	7.1	—	7.1	—	—	

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第356回利付国債 (10年)	0.1	2,000,000	2,041,580	2029/9/20
第17回利付国債 (30年)	2.4	1,000,000	1,343,580	2034/12/20
第168回利付国債 (20年)	0.4	3,000,000	3,118,740	2039/3/20
合 計		6,000,000	6,503,900	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期				末			
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 294,000	千米ドル 331,140	千円 36,726,750	% 40.0	% —	% 24.2	% 3.1	% 12.7
カナダ	千カナダドル 47,000	千カナダドル 54,663	4,560,564	5.0	—	3.5	—	1.5
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	58,000	79,529	9,569,826	10.4	—	6.8	3.7	—
イタリア	40,000	47,935	5,768,023	6.3	—	3.9	2.4	—
フランス	74,000	96,051	11,557,860	12.6	—	12.6	—	—
イギリス	千イギリスポンド 28,000	千イギリスポンド 39,607	5,676,216	6.2	—	6.2	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 36,000	千オーストラリアドル 44,122	3,234,180	3.5	—	3.5	—	—
合 計	—	—	77,093,422	83.9	—	60.6	9.1	14.2

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

DCワールド・ソブリンインカム

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	US TREASURY N/B 1.75	US TREASURY N/B 1.75	1.75	25,000	25,630	2,842,718	2024/12/31
	US TREASURY N/B 1.75	US TREASURY N/B 1.75	1.75	46,000	47,559	5,274,844	2029/11/15
	US TREASURY N/B 2	US TREASURY N/B 2	2.0	10,000	10,378	1,151,037	2050/2/15
	US TREASURY N/B 2.375	US TREASURY N/B 2.375	2.375	9,000	10,110	1,121,404	2049/11/15
	US TREASURY N/B 2.625	US TREASURY N/B 2.625	2.625	26,000	28,774	3,191,400	2029/2/15
	US TREASURY N/B 2.875	US TREASURY N/B 2.875	2.875	39,000	48,158	5,341,304	2049/5/15
	US TREASURY N/B 4.375	US TREASURY N/B 4.375	4.375	12,000	17,512	1,942,311	2040/5/15
	US TREASURY N/B 6.25	US TREASURY N/B 6.25	6.25	26,000	38,081	4,223,660	2030/5/15
	US TREASURY N/B 7.875	US TREASURY N/B 7.875	7.875	33,000	35,043	3,886,637	2021/2/15
	US TREASURY N/B 8.75	US TREASURY N/B 8.75	8.75	20,000	20,303	2,251,819	2020/5/15
	US TREASURY N/B 8.75	US TREASURY N/B 8.75	8.75	48,000	49,586	5,499,611	2020/8/15
小 計						36,726,750	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
国債証券	CANADA-GOV' T 2	CANADA-GOV' T 2	2.0	9,000	9,554	797,146	2028/6/1
	CANADA-GOV' T 2.25	CANADA-GOV' T 2.25	2.25	14,000	15,286	1,275,337	2029/6/1
	CANADA-GOV' T 3.5	CANADA-GOV' T 3.5	3.5	9,000	13,270	1,107,180	2045/12/1
	CANADA-GOV' T 9.75	CANADA-GOV' T 9.75	9.75	15,000	16,551	1,380,899	2021/6/1
小 計						4,560,564	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	9,000	12,273	1,476,889	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	27,000	39,290	4,727,846	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	22,000	27,965	3,365,091	2024/1/4
イタリア	国債証券	BTPS 4.5	4.5	16,000	18,238	2,194,626	2023/5/1
		BTPS 4.5	4.5	24,000	29,696	3,573,396	2026/3/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 0.5	0.5	14,000	15,008	1,806,013	2029/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	28,000	34,855	4,194,131	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 3.25	3.25	7,000	11,835	1,424,169	2045/5/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	25,000	34,351	4,133,546	2025/10/25
小 計						26,895,710	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
国債証券	UK TSY GILT 4.25	UK TSY GILT 4.25	4.25	14,000	22,414	3,212,170	2039/9/7
	UK TSY GILT 5	UK TSY GILT 5	5.0	14,000	17,193	2,464,046	2025/3/7
小 計						5,676,216	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	8,000	9,369	686,803	2029/11/21
	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	20,000	24,127	1,768,509	2029/4/21
	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	8,000	10,625	778,868	2039/6/21
小 計						3,234,180	
合 計						77,093,422	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第17期 運用状況のご報告
決算日：2019年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
13期(2015年3月25日)	20,179	15.0	422.02	11.7	96.7	—	119,019
14期(2016年3月25日)	19,201	△ 4.8	411.68	△ 2.5	90.0	—	105,452
15期(2017年3月27日)	18,209	△ 5.2	397.19	△ 3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

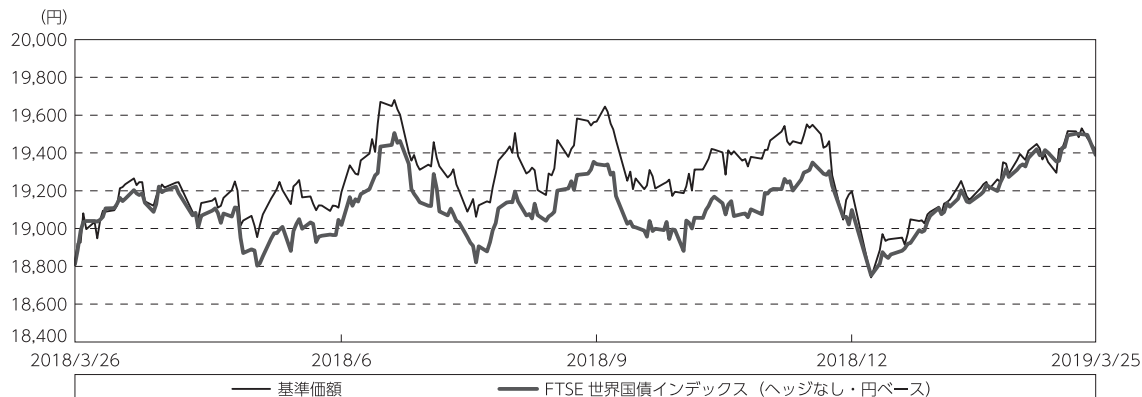
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率		
(期首) 2018年3月26日	円	%	ポイント	%	%	%
3月末	18,997	1.0	411.46	1.2	96.9	—
4月末	19,217	2.2	414.93	2.1	93.6	—
5月末	19,017	1.1	406.62	0.0	86.5	—
6月末	19,194	2.0	410.99	1.1	94.1	—
7月末	19,329	2.8	413.18	1.6	84.8	—
8月末	19,383	3.0	413.72	1.8	97.5	—
9月末	19,566	4.0	417.96	2.8	94.4	—
10月末	19,290	2.5	411.26	1.2	91.2	—
11月末	19,478	3.5	415.12	2.1	94.7	—
12月末	19,197	2.1	412.71	1.5	91.7	—
2019年1月末	19,140	1.7	413.53	1.7	89.9	—
2月末	19,363	2.9	417.70	2.8	93.5	—
(期末) 2019年3月25日	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月27日～2019年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2018年3月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資国の債券利回りが低下し、価格が上昇したこと。
- ・米ドルが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ、オーストラリアドル、イギリスポンドが対円で下落したこと。

投資環境

(2018年3月27日～2019年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、他の投資国も金融政策正常化の動きが意識され、2018年10月上旬にかけて、米国債を中心に利回りが上昇（価格は下落）する場面が見られました。ただ、その過程においても、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスの欧州連合（EU）離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等が、債券利回りの低下（価格は上昇）または上昇を抑制する要因として働きました。その後は、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を受けて、債券利回りは低下に転じました。2019年に入ると、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めには慎重なハト派姿勢に転じたことや、グローバル経済の減速懸念が一段と強まったことから、期末にかけて債券利回りの低下基調が鮮明となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、米ドル高の動きが優勢となり、2018年10月上旬にかけて、米ドルが対円で上昇する展開となりました。また、カナダドルも原油高を好感し、対円で堅調に推移しました。一方、オーストラリアドルや欧州通貨は、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスのEU離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等を背景に、対円で上値の重い動きが続きました。その後、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を背景にリスク回避の買いが強まり、2019年初めにかけては、投資通貨が対円で急落する場面が見られました。しかし、FRBを筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めには慎重なハト派姿勢に転じたことを受けて、世界的な株高とともに投資通貨が対円で戻りを試す展開となりました。ただ、期末にかけては、グローバル経済の減速懸念が一段と強まる中、投資家のリスク回避の動きが優勢となり、投資通貨が対円で軟調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルとカナダドルが対円で上昇する一方、ユーロ、オーストラリアドル、イギリスポンドが対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月27日～2019年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、4.95年～7.43年の範囲内での推移となり、期末は7.43年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は81.1%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期においては、ベンチマークと比較し、米ドルは総じて低め、ユーロは2018年6月以降高めの投資比率を維持しました。また、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドに関しては、期を通じて高めの投資比率を維持しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月27日～2019年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.1%上回りました。低調なパフォーマンスとなったイタリア国債への投資を行わなかったことがプラス要因となりました。一方、ベンチマークと比較し、対円で上昇した米ドルの投資比率を総じて低めに維持したことや、対円で下落したユーロやオーストラリアドルの投資比率を高めに維持したことがマイナス要因となりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、主要中央銀行が金融引き締めにも慎重なハト派姿勢を強めていることから、引き続き利回り低下を試す場面があると見ています。また、グローバル化の進展、技術革新、世界的な流通構造の変化等を背景に、先進国の低インフレ局面が長期化する可能性が高いと予想されることも、債券利回りの上昇を抑制する要因と考えています。為替市場では、海外の主要中央銀行がハト派姿勢を強めていることは、内外金利差縮小に伴う円高要因として働きやすい反面、リスク資産の上昇を通じて円安要因として働きやすいという側面もあります。このため、当面はこの両要因による綱引きから、為替市場は方向感を探る展開になると予想しています。一方、日銀の金融緩和の長期化観測が一段と強まっており、日銀の金融政策正常化に伴う円高リスクは大幅に後退したと考えています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、19,264円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年3月27日～2019年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 6,950,495	千円 11,745,975
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 676,543	千米ドル 650,458 (63,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 289,539	千カナダドル 300,122
国	ユーロ		千ユーロ 98,640	千ユーロ 113,968
	ドイツ	国債証券	198,000	166,415
	フランス	国債証券	千イギリスポンド 91,346	千イギリスポンド 84,671
	イギリス	国債証券	千オーストラリアドル 563,385	千オーストラリアドル 565,294
	オーストラリア	国債証券		

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月27日～2019年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年3月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,500,000	3,076,180	4.0	—	2.6	—	1.4
合 計	2,500,000	3,076,180	4.0	—	2.6	—	1.4

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
国債証券				
第25回利付国債(30年)	2.3	1,500,000	2,029,140	2036/12/20
第48回利付国債(20年)	2.5	1,000,000	1,047,040	2020/12/21
合 計		2,500,000	3,076,180	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 206,000	千米ドル 224,499	千円 24,674,756	% 32.0	% —	% 21.5	% 3.1	% 7.4
カナダ	千カナダドル 47,000	千カナダドル 56,329	4,607,748	6.0	—	2.9	3.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	63,000	86,475	10,730,749	13.9	—	8.8	5.1	—
フランス	94,000	117,817	14,619,932	19.0	—	13.7	—	5.3
イギリス	千イギリスポンド 39,000	千イギリスポンド 47,934	6,949,504	9.0	—	2.7	6.3	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 34,000	千オーストラリアドル 39,090	3,038,493	3.9	—	2.8	1.1	—
合 計	—	—	64,621,185	83.9	—	52.4	18.8	12.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	22,000	21,977	2,415,564	2024/1/31	
	US TREASURY N/B 3	3.0	20,000	20,496	2,252,811	2049/2/15	
	US TREASURY N/B 3.125	3.125	52,000	55,030	6,048,415	2028/11/15	
	US TREASURY N/B 3.125	3.125	38,000	39,882	4,383,451	2048/5/15	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	26,000	35,473	3,898,919	2030/5/15	
	US TREASURY N/B 8.5	8.5	15,000	15,797	1,736,298	2020/2/15	
	US TREASURY N/B 8.75	8.75	33,000	35,841	3,939,294	2020/8/15	
小 計					24,674,756		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	8,000	8,274	676,832	2028/6/1	
	CANADA-GOV'T 3.5	3.5	14,000	18,669	1,527,181	2045/12/1	
	CANADA-GOV'T 9.75	9.75	25,000	29,385	2,403,733	2021/6/1	
小 計					4,607,748		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	7,000	8,218	1,019,823	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	32,000	46,525	5,773,381	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	24,000	31,731	3,937,544	2024/1/4
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	24,000	29,409	3,649,467	2027/10/25

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 3.25	3.25	18,000	26,341	3,268,657	2045/5/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	21,000	29,429	3,651,946	2025/10/25
		FRANCE O. A. T. 8.5	8.5	31,000	32,636	4,049,862	2019/10/25
小 計						25,350,682	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 3.5	3.5	10,000	14,266	2,068,299	2045/1/22
		UK TSY GILT 8	8.0	29,000	33,668	4,881,205	2021/6/7
小 計						6,949,504	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	14,000	15,130	1,176,082	2028/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.5	4.5	10,000	13,070	1,015,931	2033/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 5.75	5.75	10,000	10,890	846,479	2021/5/15
小 計						3,038,493	
合 計						64,621,185	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	67,697,365	87.9
コール・ローン等、その他	9,354,408	12.1
投資信託財産総額	77,051,773	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (65,564,229千円) の投資信託財産総額 (77,051,773千円) に対する比率は85.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=109.91円、1カナダドル=81.80円、1ユーロ=124.09円、1イギリスポンド=144.98円、1オーストラリアドル=77.73円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	77,051,773,015
コール・ローン等	8,395,877,631
公社債(評価額)	67,697,365,289
未収利息	666,753,958
前払費用	291,776,137
(B) 負債	43,987
未払利息	8,641
その他未払費用	35,346
(C) 純資産総額(A-B)	77,051,729,028
元本	39,684,154,683
次期繰越損益金	37,367,574,345
(D) 受益権総口数	39,684,154,683口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,416円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.9416円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は44,304,542,179円、期中追加設定元本額は597,164,334円、期中一部解約元本額は5,217,551,830円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	38,107,695,405円
Wソブリン毎月分配型(一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	695,187,878円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	418,899,583円
私募ソブリン07-04 (適格機関投資家専用)	224,497,848円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	135,288,197円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	53,664,726円
DCワールド・ソブリンインカム	48,921,046円

○損益の状況 (2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,513,324,414
受取利息	3,515,825,596
支払利息	△ 2,501,182
(B) 有価証券売買損益	△ 874,864,322
売買益	3,936,459,956
売買損	△ 4,811,324,278
(C) その他費用等	△ 9,768,833
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,628,691,259
(E) 前期繰越損益金	39,035,325,590
(F) 追加信託差損益金	547,205,666
(G) 解約差損益金	△ 4,843,648,170
(H) 計(D+E+F+G)	37,367,574,345
次期繰越損益金(H)	37,367,574,345

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。